

資料5 2022年度(R4年度)の主な取組み

新型コロナウイルス感染症の拡大により依然として多大な影響を受けている大阪の賑わいを取り戻し、来るべき大阪・関西万博を見据えた都市魅力の創造・発信や受入環境整備を図るため、大阪都市魅力創造戦略2025に基づく重点取組みをはじめとした各種施策・事業を推進。

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

- 2025年日本国際博覧会推進事業
- IRの推進
- 大阪市内の重点エリアの魅力向上
- 万博記念公園の魅力向上
- 大阪・光の饗宴
- 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業
- 水都大阪

■ 大阪の強みを生かした魅力創出・発信

- 大阪の食の魅力の発信
- 国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出
- 大阪観光局運営事業
- 観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業
- 広域ベイエリアまちづくりの推進

■ さらなる観光誘客に向けた取り組み

- 国内旅行消費喚起事業
- 大阪いらっしやいキャンペーン
新たなGo Toトラベル事業（都道府県による事業）
- 外国人旅行者安全確保事業
- 宿泊施設おもてなし環境整備促進事業
- 災害時多言語支援事業
- ナイトカルチャー魅力創出事業
- 大阪城天守閣を中心とした集客促進事業（再掲）

■ 戦略的なMICE誘致の推進

- MICE推進に向けた取組み
- AIMS世界総会の開催
- 大阪府立国際会議場の改修
- インテックス大阪の改修

■ 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

- 大阪文化芸術創出事業
- 芸術文化による大阪の魅力向上
- 美術館・博物館の魅力向上（再掲）

■ スポーツツーリズムの推進

- スポーツツーリズムモデル事業
- 大阪スポーツプロジェクト推進事業
- 大阪マラソン開催事業
- AIMS世界総会の開催（再掲）

■ 大阪の成長・発展につながる

国内外の高度人材の活躍推進

- 高校生等海外進学支援事業
- 実践的英語体験活動推進事業
- 英語イノベーション事業
- 外国人留学生就職等支援
- 外国人相談等

※詳細は、「（別添）取組み概要」資料を参照

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

2025年日本国際博覧会推進事業 府市 R4年度当初予算 5,152,774千円

事業概要
2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に向け、地元自治体として担うべき開催準備等を推進する。

- 会場整備・交通アクセスにおいて、円滑な開催に向け、引き続き国や関係機関と調整を行う。
- 大阪パビリオンについては、2021年度末に策定した出展基本計画に基づき、2022年度以降の大阪パビリオンの建設、展示、運営等の実現に向け具体化を進める。
2022年7月 一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン設立
2022年度 基本・実施設計、2023年春 工事着工、
2024年度末 完成予定
- 府民・市民一人ひとりに向けたPR活動や万博への理解促進、興味関心を示す取り組みを推進するとともに、「万博の桜」への呼びかけ、PRツールの配布などによって、機運醸成を図る。また、国や博覧会協会、その他関係機関とも連携し、各主体が有するツールやネットワーク等を活用して府内外に向けた機運醸成を進めていく。
2022年7月18日 万博開催1000日前イベント実施

IRの推進 府市 R4年度当初予算 121,669千円

事業概要
夢洲において、大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型 I Rの実現をめざす。

- 2022年4月 区域整備計画の認定申請
- 2023年以降に設置運営事業開始、工事着工予定
- 2029年秋～冬頃開業予定

大阪市内の重点エリアの魅力向上 府市 一部新規

事業概要
都市の魅力向上に向けて、大阪市内の重点エリアの魅力向上、発信の各種取組を推進する。

①大阪城・大手前・森之宮地区

- 大阪城天守閣復興90周年事業 [R4年度当初予算 262,760千円]
 - ・ コアイベント
大阪城をはじめとする大阪の魅力を広く全国に向けて発信することを通じて、コロナ感染症からの復興の機運を醸成するとともに、全国から集客を図り、大阪観光産業の復興を図る。
2022年10月 大阪城天守閣復興90周年記念イベント開催予定
 - ・ 参城めぐり
大阪城天守閣と縁のある城郭（尼崎城、岸和田城）と連携して、大阪城への集客促進を図る。
2023年3月末まで、大阪城、尼崎城、岸和田城スタンプラリー実施中
- 豊臣期石垣公開事業 [R4年度当初予算 320,284千円]
 - ・ 初代大坂城の石垣を掘り起こし、公開施設の整備、特別史跡大坂城跡保存管理計画の推進、文化財の整備・活用を行う。
 - ・ 2022～2023年度 施設整備工事、斜面復旧工事、施設展示製作、遺構モニタリング、
豊臣石垣保存公開検討会議
2024年春 公開施設オープンをめざす
- 難波宮跡公園の整備 [R4年度当初予算90千円]
 - ・ 2025年大阪・関西万博開催に向け、「史跡難波宮跡附法円坂遺跡整備基本計画」に示された短期計画の早期実現をめざす。
2022年8月 ハード・ソフト両面からの魅力を向上するため、難波宮跡公園の整備及び管理運営事業者を決定
2024年度 北部ブロック公園完成予定

②天王寺・阿倍野地区

- 市立美術館 [R4年度当初予算 1,315,868千円]
 - ・ 市立美術館の機能強化と利用者サービス向上のための抜本的改修を行う。
2022～2023年度 実施設計に基づき改修工事を実施、2024年度中にリニューアルオープン
- 天王寺動物園 [R4年度当初予算 1,440,428千円]
 - ・ 天王寺動物園の老朽獣舎リニューアル工事を行い、集客力強化とブランド力向上をめざす。
2022年12月 ペンギン・アシカ舎完成予定。

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

万博記念公園の魅力向上 府

事業概要

①万博記念公園駅前周辺地区活性化事業 [R4年度当初予算 340,901千円]

大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくりを推進するため、世界最先端の機能を有するアリーナと、アリーナを中核とした周辺施設が相乗効果を発揮し、大阪・関西、ひいては西日本の成長、発揮の起爆剤となるよう取組む。

2022年度 環境アセスメント開始
2023年度 工事着工
2027年度に第Ⅰ期（アリーナ等）開業予定。

②新たな将来ビジョンの策定 [R4年度当初予算 6,710千円]

万博記念公園を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえ、万博のレガシーを次世代に継承していくとともに、公園のさらなる活性化を図るため、新たな将来ビジョンを2022年11月に策定予定。

③EXPO'70 パビリオン別館の建設 [R4年度当初予算 619,880千円]

太陽の塔初代黄金の顔等、1970年大阪万博のレガシーを中心に常設展示を行うほか、屋内イベントが開催できるスペースと機能を備えたEXPO'70パビリオン別館を建設。展示内容等について、万博公園運営審議会の意見を聴取するなど充実を図る。

2021年12月～2023年4月 建築工事
2022年 5月～2023年7月 展示設計等・製作・設置
2023年 8月 オープン予定

大阪・光の饗宴 府市 R4年度当初予算 353,746千円

事業概要

「御堂筋イルミネーション」、「OSAKA光のルネサンス」、地域団体等が展開するエリアプログラムを一体的に展開して、都市魅力の創造・発信や都市ブランドの向上を図る。

大阪の冬を代表する観光コンテンツの充実を図り、国内外からの観光客の満足度を高め、さらなる呼び込みを図る。

- 2022年6月 「御堂筋イルミネーション2022業務」事業者決定
- 2022年7月 「OSAKA光のルネサンス2022運営業務」等事業者決定
- 2022年11月3日～2023年1月31日 大阪・光の饗宴2022開催予定

百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業 府 R4年度当初予算 13,749千円

事業概要

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」について、「世界遺産条約」に基づく義務を果たすため、資産の保存・活用の取組みや資産の価値と魅力を発信する取組みを、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市が一体となり進める。

- 4自治体で構成する百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議にて、遺産影響評価の実施にかかる国やユネスコ等との協議調整を行う。
- 魅力発信の取組みとして、昨年度制作の高精細PR映像を活用したデジタルマーケティング事業（ターゲティング広告）を通じたさらなる認知度向上及び興味関心がある層の把握を行う。ターゲティング広告配信を4回（各2週間）実施予定（うち6月に1回実施済）

水都大阪 府市 一部新規

事業概要

①水都大阪コンソーシアム事業 [R4年度当初予算 67,450千円]

「水と光の首都大阪」の実現に向けて、府・市・経済界等による公民共通のプラットフォームである「水都大阪コンソーシアム」において、水辺魅力創出や舟運活性化、ブランディング、観光、安全安心の取り組みを推進する。2022年度は水辺におけるライフスタイルの提案や体験による水都大阪のファンづくりをはじめ、歴史・文化に培われた水都大阪のブランディングをさらに強化するとともに、万博を契機とするポスト2025をにらんだ水都の将来像の検討を行う。

②水辺の魅力空間づくり [R4年度当初予算 809,248千円]

舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備、水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備を行う。

- ・ 中之島ゲートターミナル整備 2022年度 事業者公募予定
- ・ 大阪城港整備等 2022年度末 完成予定
- ・ 東横堀川水辺魅力空間整備（本町橋～農人橋間）
2022年度 契約手続き・着手、2023～2024年度 工事・完了予定

③夜間景観における水辺の魅力向上 [R4年度当初予算 20,000千円]

中之島夜間景観の質の向上と永続化に向け、新たなライトアップ施設の設置や既存施設の更新を実施する。

- ・ 端建蔵橋ライトアップ 2022年度 設計、2023～2024年度 工事・完了予定

■大阪の強みを生かした魅力創出・発信

大阪の食の魅力の発信府市

事業概要

大阪の強みである「食」のコンテンツの磨き上げや発信などを行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大阪の賑わいを取り戻す。

①食のブランディングに向けた取り組み〔R4年度当初予算案 大阪観光局運営事業（533,500千円）の一部〕

食に関する事業を通じて大阪の「食」ブランディングに向けた取組みを推進する。
大阪商工会議所と共に「食創造都市 大阪推進機構」の活動を通じて世界における「食のまち・大阪」を発信する。

②大阪産（もん）グローバルブランド化促進事業〔R4年度当初予算90,079千円〕

6次産業化に取り組む事業者への支援等により付加価値の高い大阪産(もん)づくりを進めるとともに、大阪産(もん)のPR販売や販路拡大等を促進し、ブランド力の向上と購入機会の拡大を図る。
2022年度は6次産業化に取り組む事業者支援、人材育成研修・交流会、大阪産（もん）PRイベントを実施予定

③大阪の食の魅力発信

民間事業者等との連携により、大阪の食の魅力を活用した新たな大阪ならではの観光コンテンツの開発をするなど、大阪ならではの品質で特別感のある「食」の魅力を発信し、観光客の誘致及び観光消費の拡大を図る。
2022年度は大阪観光局と連携し、大阪の食の魅力を発信するプログラム「あじわい大阪」を継続して実施予定

観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業市

事業概要

船場地区において、無電柱化や周辺景観と調和した道路整備を実施することにより、歴史的・文化的資産等を有するまちなみの再生・活性化・新たなまちなみの個性を引き出し、回遊性の向上及びにぎわい創出を図る。

○ 2022年6月 道修町通の道路整備完了

○ 2024年度中 電線管理者により道修町通の抜柱完了予定

国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出府市

R4年度当初予算100,000千円

事業概要

大阪のシンボリックなエリア（御堂筋、中之島、水の回廊など）において話題性のあるキラコンテンツを実施し、大阪の魅力を全世界に強力に発信することで、多くの方々を大阪に誘客する起爆剤となるプロモーションイベントを開催する。
2025年大阪・関西万博の機運醸成に向けたプロモーション事業と連携。

○ 2022年5月 事業者決定

○ 2022年11月3日 イベント開催予定

大阪観光局運営事業府市

R4年度当初予算 533,500千円

事業概要

大阪観光局において、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組む、来阪宿泊数等を増加させることで、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化につなげ、経済効果の向上を図る。

広域ベイエリアまちづくりの推進府市

R4年度当初予算 4,000千円

事業概要

2050年を長期目標とした大阪広域ベイエリアの将来像や様々な主体の取組みの基本的な方向性等について、令和3年に「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）」をとりまとめ、その重点的な取組みとして、海上交通の活性化、広域サイクル連携及び堺旧港周辺まちづくり等の取組みを推進する。

○ 2022年秋頃 海上交通と連携しつつ地域資源を活かし、自転車の活用等により臨海部の回遊性等の向上を図る取組みを実施予定。

○ 2022年内 「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン」の策定予定

■さらなる観光誘客に向けた取組み

国内旅行消費喚起事業

府市

R4年度当初予算 2,000,000千円

一部新規

事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きな打撃を受けた観光関連事業者を支援するため、話題性のある集客イベントの実施により国内旅行者を府内に呼び込むとともに、府域周遊を促す取組みを実施（大阪来てな！キャンペーン）。また、旅行者に府内観光関連施設で利用できるクーポンを付与することで府内全体における観光消費を促進する。

イベントの参加目標者数延べ20万人。

【集客イベント】

- 2022年7月18日 キックオフイベント実施
- 2022年 9月 自然豊かな観光地をステージとした音楽ライブ(府域4か所、市内) ～年度末 をはじめ、食、街遊び・アートなどをテーマにしたイベントを実施予定

【周遊促進に向けた取組み】

イベント開催地周辺の観光情報や、府内の観光地を巡りながら与えられたミッションをクリアすることで特典が付与されるなど、楽しみながら府内を周遊できる企画を実施予定。

【クーポンの付与】

府内宿泊者を対象としたクーポン配布を検討中

外国人旅行者安全確保事業

府市

R4年度当初予算 2,322千円

事業概要

災害時等に外国人旅行者自らが身を守るために必要な情報を入手できる環境をつくるとともに、ホテル等との災害時の連携協定締結を進め、災害時に一時避難できる環境を確保することにより、外国人旅行者が安心・安全に大阪の旅行や観光を楽しめる環境を整備する。

2022年度は、旅行者向けのリーフレットの配布拡大をはじめ、支援フロー及びガイドラインの周知、大阪市をはじめとした府内宿泊施設との協定締結の促進に取り組む。

大阪いらっしやいキャンペーン・新たなGoToトラベル事業

府市

一部新規

事業概要

大阪府域へ来訪・周遊する旅行者の観光消費の喚起、並びに旅行機運の醸成を図ること
で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた大阪府内の観光関連事業者を支援する。

①大阪いらっしやいキャンペーン [R4年度予算 9,700,000千円]

対象となる宿泊プラン等を利用して府内に宿泊する旅行者及び、旅行業者が造成した対象バスツアー等を利用する旅行者に対し、宿泊等の割引や大阪独自のクーポンを配布するキャンペーンを実施する。

- 2022年6月1日から2022年7月14日まで大阪府・滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県在住の方を対象にキャンペーンを実施(利用者数 約39万人(速報値))
- 今後、コロナの感染状況や国の方針をふまえ、対象を全国に拡大することを検討中

②新たなGoToトラベル事業 [R4年度予算 21,405,718千円]

国によるGoToトラベル事業終了後、国の方針をふまえ、都道府県事業として宿泊割引とクーポン付与を実施することを検討中。

■さらなる観光誘客に向けた取組み

ナイトカルチャー魅力創出事業

府

R4年度当初予算 2,778千円

事業概要

主に外国人旅行者を対象としたナイトカルチャー事業の立ち上げや事業継続に向けた取組みを支援することで、大阪のナイトカルチャーの発掘・創出を図り、大阪を訪れるインバウンドをはじめとする観光客の満足度を高め、さらなる呼び込みにつなげていく。

- 2022年度は、夜間公演等の事業継続に向けた取組みに対し、補助上限額を250万円とする補助の実施を検討
- ナイトカルチャーの在り方についての検討会を開催し、より効果的な事業となるよう見直しを進める

宿泊施設おもてなし環境整備促進事業

府

R4年度当初予算 20,000千円

事業概要

宿泊施設（特区及び新法民泊施設を含む）における来阪旅行者のための環境整備に係る事業に対し補助を行うことにより、受け入れ対応の強化を図り、旅行者の宿泊需要への対応やリピーター確保につなげていく。

- 宿泊施設が実施する以下の取組みに対し支援を行う。
感染防止対策推進：非接触対応や換気機能向上などの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
おもてなし環境整備：施設内案内表示の多言語化やWi-FiなどIT環境の整備、トイレの洋式化といった宿泊客の利便性や満足度向上に繋がる取組み
- 2022年6月 公募開始

大阪城天守閣を中心とした集客促進事業（90周年事業）（再掲）

市

R4年度当初予算 262,760千円

事業概要

（コアイベント）
大阪城をはじめとする大阪の魅力を広く全国に向けて発信することを通じて、コロナ感染症からの復興の機運を醸成するとともに、全国から集客を図り、大阪観光産業の復興を図る。

- 2022年10月15日～23日 大阪城天守閣復興90周年記念イベント
「大阪城夢祭」開催予定
 - ・10月15日 オープニングイベント実施予定
 - ・10月15日、16日、21日、22日 音楽イベント LIVE GUMBO PARK 実施予定
 - ・10月15日、16日 音楽イベント Chillin’ Vibes 2022（大阪来てな！キャンペーンにおいて）実施予定
- （参城めぐり）
大阪城天守閣と縁のある城郭（尼崎城、岸和田城）と連携して、大阪城への集客促進を図る。
- 2023年3月末まで、大阪城、尼崎城、岸和田城スタンプラリー実施中

災害時多言語支援事業

府

R4年度当初予算 12,993千円

事業概要

災害時に外国人が必要とする災害や交通等の情報を多言語で提供するウェブサイト・アプリであるOsaka Safe Travelsの管理・運用を行うとともに、情報の充実や普及促進に取り組む。

■ 戦略的なMICE誘致の推進

MICE推進に向けた取組み府市一部新規

事業概要

官民が一体となって戦略的にMICE誘致を展開するため、2022年度中にMICE戦略の策定を進める。

また、府内施設を主会場としたオンライン併用型MICEの開催費用を助成するなど、大阪におけるMICE受入体制の充実を図ることで、観光消費を拡大し、大阪に集積する産業分野を生かしたビジネスやイノベーションの機会を創出する。

①MICE誘致のための取組み〔R4年度当初予算 大阪観光局運営事業（予算：533,500千円）の一部〕

②ハイブリッドMICE開催支援〔R4年度当初予算 9,444千円〕

大阪府内の施設をリアル主会場とする際に必要となる配信用機材等のレンタル料、通信費、オペレーター経費、会場費を助成する。

- 2022年5月2日 MICEハイブリッド開催支援助成金（第1回）の対象事業の受付開始
- 2022年9月1日 MICEハイブリッド開催支援助成金（第2回）の対象事業の受付開始

大阪府立国際会議場の改修府新規

事業概要

国際会議施設として必要とされる水準を維持するとともに、利用者の安全確保・快適性を確保し、施設の稼働率の維持・向上を目的に設備等の改修、更新工事を行う。

- 2022年度：大規模改修工事実施設計
- 2023年度：大規模改修工事（予定）

AIMS世界総会の開催府市R4年度当初予算 30,000千円新規

事業概要

「第23回AIMS（国際マラソン・ディスタンスレース協会）世界総会」を開催し、大阪マラソンの国際的な知名度向上を図るとともに、加盟国・地域、参加者の来阪による経済効果の創出やMICE都市の実現に寄与する。

- 期間 2023年2月23日～25日
- 会場 大阪市内のホテル
- 参加者数 約500名（海外450名、国内50名）
- 内容 AIMS世界総会開催、大阪マラソン視察、大阪・関西のプロモーション

インテックス大阪の改修市R4年度当初予算 26,840千円新規

事業概要

来場者に対する安全性や快適性を確保し、施設の機能回復を図るため、インテックス大阪の長寿命化に必要な改修工事等を行う。

- 2022年度 基本計画策定
- 2023年度 基本設計（予定）
- 2024年度 実施設計（予定）
- 2025年度 工事開始（予定）

■文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

大阪文化芸術創出事業

府市

拡充

事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大により、甚大な影響を受けているアーティストや演芸人、楽団など文化芸術に携わる方々を支援するため、公演・活動機会を創出し、府民・市民に鑑賞機会を提供するとともに、大阪の文化芸術の魅力発信に取り組む。

①活動支援補助金 [R4年度当初予算 300,000千円]

新型コロナウイルス感染症拡大により、今なお影響を受けている舞台公演等の文化芸術活動に影響を受けているアーティストや文化芸術団体等の活動を支援するため、大阪府市が連携し、公演・展示の実施にかかる会場使用料等を補助する。

第1期（7～8月実施事業） 募集期間：2022年4月15日～5月13日
交付決定件数：281件

第2期（9～10月実施事業） 募集期間：2022年6月15日～7月13日
※交付決定件数は8月末に確定

第3期（11～12月実施事業） 募集期間：2022年8月15日～9月13日
※交付決定件数は10月末に確定

②公演機会の創出 [R4年度当初予算 300,000千円]

文化芸術活動の回復に取り組むため、大阪府市が連携し、プログラムを実施し、大阪ゆかりのアーティスト・演芸人や劇団・楽団等の公演・活動の場を創出するとともに、府民に文化芸術に触れる機会を提供する。

③文化芸術の魅力発信 [R4年度当初予算 144,000千円]

文化を核として大阪の都市魅力を創造し、広く国内外に発信していく事業として、大阪文化芸術フェスを実施する。府内のホールや劇場、公園において、大阪が誇る上方伝統芸能や上方演芸をはじめ、音楽や演劇等、多彩で豊かな文化資源を活用した様々なプログラムを実施し、多くの観光客を呼び込むことをめざす。

※2022年は「大阪文化芸術創出プログラム2022」として②と③を合わせて実施

- 2022年9月から実施予定
- 目標値：集客数 250,000人、プログラム公演数 85公演

芸術文化による大阪の魅力向上

市

事業概要

①大阪クラシック [R4年度当初予算 32,350千円]

御堂筋や中之島エリアで無料または低料金のクラシックコンサートを通じて、市民やビジターが気軽に第一級の芸術を楽しむ機会を提供するとともに、大阪ならではの芸術文化イベント開催により都市魅力の向上を図る。

- 2022年9月実施予定
- 集客数目標：71公演 42,000人

②大阪アジア映画祭 [R4年度当初予算 20,288千円]

優れたアジア映画の鑑賞機会を市民に提供すること及び大阪での映像制作活動の促進を支援すること等を通じて、映像文化の裾野を広げ、芸術文化にあふれる大阪を国内外に発信する。また、大阪を映像文化の創造拠点として、都市の魅力を高めるとともに、交流と人材育成を図る。アジア最新作の上映や来日ゲストとの交流、シンポジウム、映画講座等を実施する。

- 2023年3月 映画祭開催予定
- 上映動員数目標：10,000人

③文楽を中心とした古典芸能振興 [R4年度当初予算 35,000千円]

大阪の誇る文楽を中心とした上方の古典芸能に触れる機会を市民に提供することで、文楽をはじめとする古典芸能の振興を図ることを目的に、文楽に関する公演や行事を開催するとともに、国立文楽劇場での文楽鑑賞への興味を喚起する情報を発信する業務を実施する。

- 2022年5月 事業者募集、7月 事業開始、2023年3月 事業終了
- 古典芸能公演等視聴者数目標：17,500人

④大阪市芸術活動振興事業助成 [R4年度当初予算 117,000千円]

大阪の文化的創造や芸術文化水準の向上、さらには都市魅力の向上のため、大阪市内等で実施する芸術活動を支援する。

- 2022年3月 上期助成事業決定 101件、2022年7月 下期助成事業募集
- 特別助成申請件数目標：45件以上

美術館・博物館の魅力向上（再掲）

市

事業概要

①美術館・博物館の魅力向上 [R4年度当初予算案 2,464,475千円]

「大阪市ミュージアムビジョン」に掲げる、①大阪の知を拓く、②大阪を元気にする、③学びと活動の拠点へ、を目標に、「都市のコアとしてのミュージアム」の実現に向け、都市魅力の向上と新たな文化・人材の創出に貢献する。

所蔵作品の計画的な修復や展示環境の改善・魅力的な展示の実現を行うとともに、マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致に取り組む。

②大阪市立美術館の大規模改修 [R4年度当初予算案 1,315,868千円]

美術館として必要な機能強化と利用者サービス向上のための抜本的改修を行う。2022年度は実施設計に基づき改修工事を実施する。

- 2022年度～ 大規模改修工事
- 2024年度中 リニューアルオープン予定

■スポーツツーリズムの推進

スポーツツーリズムモデル事業

府

R4年度当初予算 15,000千円

一部新規

事業概要

スポーツと観光や食等を組み合わせ、地域資源を活用したスポーツツーリズムを創出することとで、人やまちに活力を与え、地域活性化を図る。

万博開催の機会を捉え、誰もが楽しめるアーバンスポーツ等の魅力的なコンテンツを体感できるツーリズムの形成に向け、モデル事業の実施等を行う。

大阪スポーツプロジェクト推進事業

府

R4年度当初予算 11,000千円

一部新規

事業概要

府内トップスポーツチーム、スポーツ団体、経済団体等が一体となった大阪スポーツコミッション（OSAKA SPORTS PROJECT）により、スポーツ資源を活用し、スポーツを楽しむ機会を提供するとともに活力あるまちづくりに向けて、スポーツツーリズムの推進に取り組む。

○ 2022年度は、トップスポーツチームとイベントを30回以上実施することを目標とする。

7月時点で17回実施。

イベント例

ウォーキングフットボール（サッカーチームと連携）

てんしばスポーツフェスティバル(サッカーチーム、ラグビーチーム、フットサルチームと連携)等

大阪マラソン開催事業

府市

R4年度当初予算 180,000千円

事業概要

大阪マラソンは、参加ランナーが大阪の名所を駆け抜け、大阪の元気や都市魅力を国内外に発信する新しい「お祭り」として2011年にスタートした。

2022年2月27日開催の第10回大会から「びわ湖毎日マラソン」と統合し、オリンピック等の代表選考レースとしての機能を併せ持つ大会として開催し、トップランナーも参加する大会となった。今後、さらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進することにより、世界トップレベルの市民マラソンをめざす。

○ 2022年度は、2023年2月26日開催予定

海外ランナーエントリー数 15,000人を目標

AIMS世界総会の開催（再掲）

府市

R4年度当初予算 30,000千円

新規

事業概要

「第23回AIMS（国際マラソン・ディスタンスレース協会）世界総会」を開催し、大阪マラソンの国際的な知名度向上を図るとともに、加盟国・地域、参加者の来阪による経済効果の創出やMICE都市の実現に寄与する。

○ 期間 2023年2月23日～25日

○ 会場 大阪市内のホテル

○ 参加者数 約500名（海外450名、国内50名）を目標

○ 内容 AIMS世界総会開催、大阪マラソン視察、大阪・関西のプロモーション

別添) 取組み概要

■大阪の成長・発展につながる国内外の高度人材の活躍推進

高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾）府 R4年度当初予算41,661千円

事業概要
海外の大学で学位取得をめざす高校生を対象に、英語力やコミュニケーション力等の強化を図るとともに、海外の大学への進路指導を行うなど、総合的な支援を実施し、世界で活躍できるトップレベルのグローバル人材を育成する。

- 2022年5月～7月 海外進学準備講座
7月30日～8月9日 短期留学
9月～2023年1月 海外大学受験講座
- おおさかグローバル塾修了者の海外進学レベルの英語力習得：90%以上を目標

実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）府 R4年度当初予算 7,800千円

事業概要
府内の高校生等を対象に、実践的英語体験を実施し、海外への興味や英語でのコミュニケーションの必要性に気づかせることにより、大阪が国際競争に勝ち抜くために必要な将来のグローバル人材となり得る層の裾野を広げる。

- 2022年6月～2023年3月 プログラム実施
- グローバル体験プログラム参加者のうち、英語の習得意欲が高まった割合：95%以上、海外に関する関心が高まった割合：95%以上を目標

外国人相談等 府市

事業概要
①外国人受入環境整備事業 [R4年度当初予算 20,000千円]
（公財）大阪府国際交流財団が運営する相談窓口において、外国人に生活・就労等に関する情報提供や相談対応を一元的に実施するとともに、多言語での情報発信を行う。

- 外国人相談件数：2700件を目標、7月末時点 1,284件

②外国人多言語相談・情報発信機能の充実 [R4年度当初予算 50,913千円]
（公財）大阪国際交流センターのインフォメーションセンター内にある「外国人のための相談窓口」において、情報提供や相談を多言語で行う。
また、在住外国人を対象とした在留資格・法律などなど専門分野の相談会（外国人のための「一日インフォメーションサービス」）を実施する。

- 外国人相談件数：3,400件を目標、7月末時点の相談件数：1,692件
- 外国人のための「一日インフォメーションサービス」
相談件数165件以上及び来場者アンケート（満足度）90%以上を目標
2022年7月3日 第1回外国人のための「一日インフォメーションサービス」を実施
相談件数77件、満足度：96.3%、

外国人留学生就職等支援 府市

事業概要
①外国人留学生就職支援 [R4年度当初予算 2,186千円]
大学・大学院に在学し、大阪府内での就職をめざしている外国人留学生を対象に、就職に関するセミナー等を実施することで、大阪企業への就職を促進し、外国人留学生の大阪への定着を図る。

- 府内企業に対する理解が深まった外国人留学生の割合：90%以上を目標
- 大学等と連携した留学生向け就職セミナーを8回実施予定

②外国人留学生との連携拡大及び起業支援 [R4年度当初予算 4,285千円]
国際的な視点・能力をもつ留学生に、大阪市等が企画する協働・交流プログラム（ボランティアプログラム）に参加してもらい、地域の国際化・活性化を図るとともに、留学生の地域への愛着を醸成する。また、起業のきっかけとなるような支援セミナーを開催し、国際人材の定着を促進する。

- 交流プログラム（2件）、協働プログラム（20件）起業支援セミナー（2件）を目標とする
- 【交流プログラム】
・参加留学生を選定し、プログラム参画支援を実施
- 【協働プログラム】
・参加イベントの選定中
- 【起業支援セミナー】
・2022年10月・12月に1回ずつ実施予定

英語イノベーション事業 市 事業令和4年度当初予算 730,902千円

事業概要
児童生徒が積極的に自分の考えや意見を伝えることのできる英語コミュニケーション能力の育成をめざす。

- CEFR A 1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合53.4%以上を目標
- 2022年4月～2023年3月
・ネイティブスピーカーの配置
・小学校低学年からの英語教育の実施
・教員の指導力及び英語力向上に向けた研修の実施
- 2022年8月
英語体験イベント「イングリッシュデイ」を実施
- 2022年10月
・大阪市英語力調査実施